



概要版

大多喜町 第4次 総合計画

基本構想・前期基本計画

みんなでつくる
持続可能な住みやすいまち
大多喜



はじめに

▶ 計画策定の趣旨

大多喜町では、平成28年度から令和7年度までの10年間を計画期間とする「大多喜町第3次総合計画」に基づき、「ひとまちみどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」を将来像としてまちづくりを進めてきました。

その間、人口減少・少子高齢化、地震や集中豪雨、台風等の自然災害への不安の高まり、新型コロナウイルス感染症対策による新しい生活様式の実践やデジタル化の加速等、社会経済情勢は変化しており、町民ニーズや行政に求められる役割も大きく変化しています。

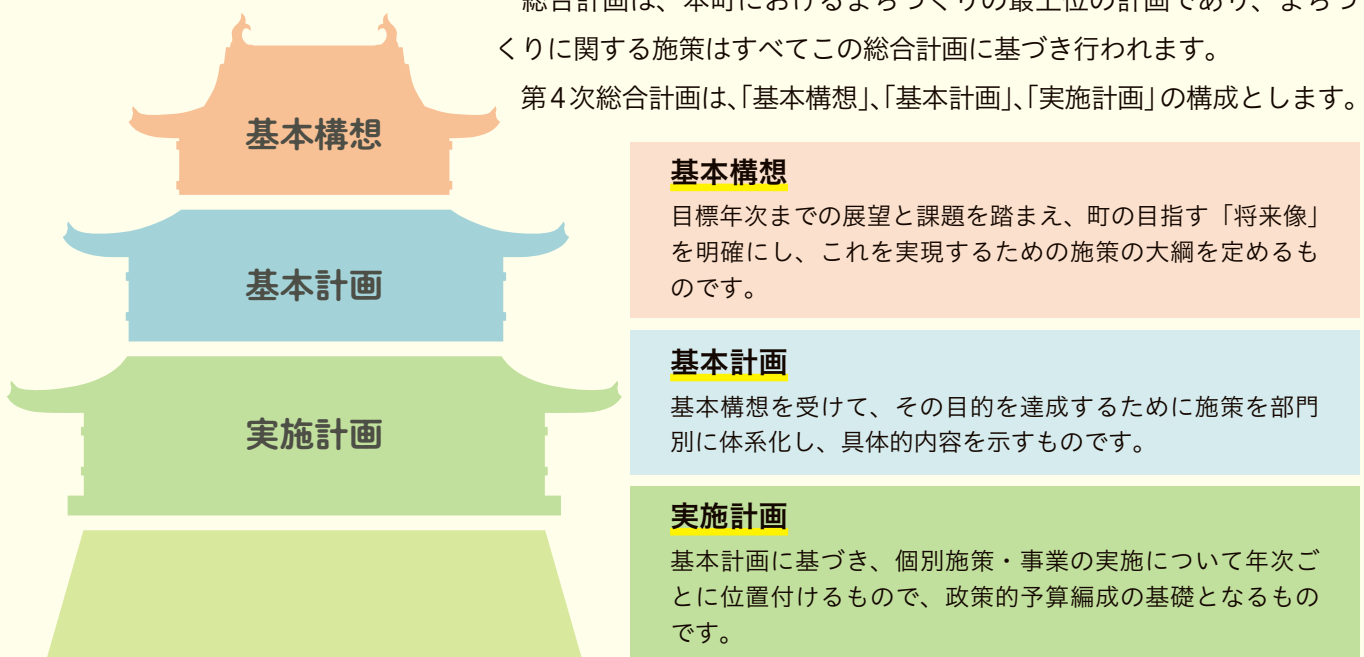
こうした状況変化を踏まえ、新たな課題に的確に対応し、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていくことが、行政には求められています。

そこで、令和7年度をもって終了する第3次総合計画に代わり、令和8年度から令和17年度までの10年間のまちづくりの指針として、「大多喜町第4次総合計画」を策定します。

▶ 計画構成と計画期間

総合計画は、本町におけるまちづくりの最上位の計画であり、まちづくりに関する施策はすべてこの総合計画に基づき行われます。

第4次総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の構成とします。



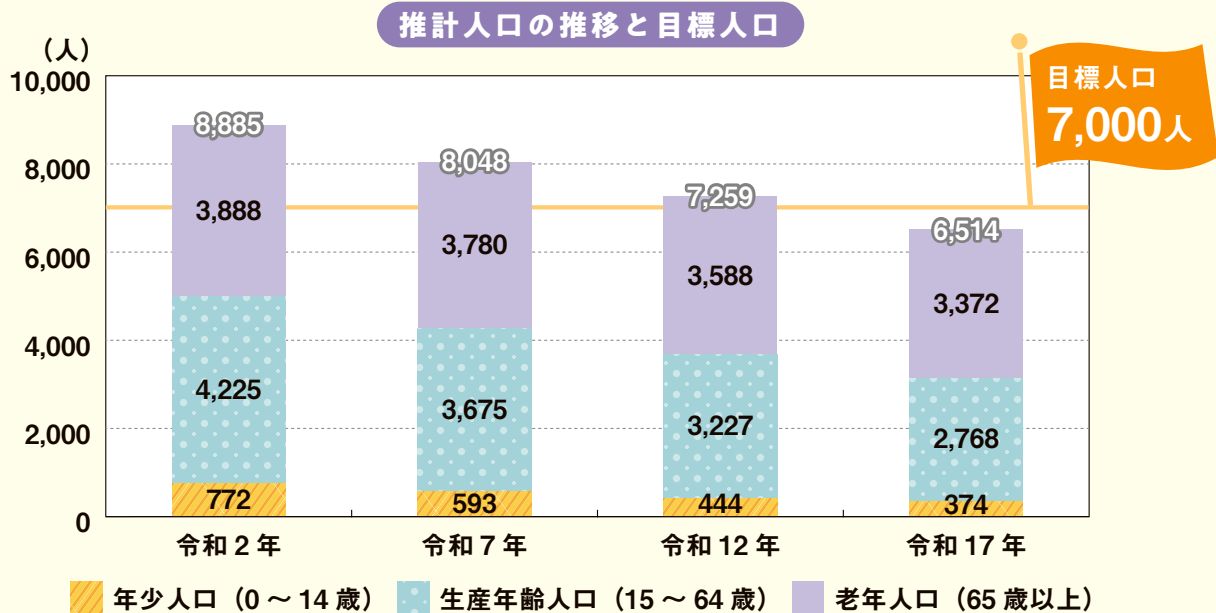
第4次総合計画の期間は10年間とし、「基本構想」は令和8(2026)年度から令和17(2035)年度までの10年間、「基本計画」は基本構想の前期5か年、後期5か年をそれぞれ前期基本計画期間、後期基本計画期間とします。また、基本計画に基づく実施計画期間を3年間とします。

	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	令和17年度
基本構想	10年									
基本計画	前期基本計画(5年)					後期基本計画(5年)				
実施計画	3年			3年			3年			3年

基本構想

▶ 将来人口と目標人口

国立社会保障・人口問題研究所(令和5年推計)によると、本町の総人口は減少傾向にあり、この傾向は今後も続くことが予想され、将来人口推計では、第4次総合計画の目標年度である令和17年には6,514人まで減少することが見込まれています。



令和17年度末
目標人口
7,000人

定住促進やにぎわいづくり、高齢化対策、交通利便性向上等の施策をより一層充実させ、人口減少や少子高齢化に歯止めをかけることにより、本基本構想の目標年度である令和17年度末における人口を7,000人とし、まちの活力を将来にわたって維持していくことを目指します。

▶ まちづくりの基本理念

まちづくりに取り組むために大切にしていきたい考え方として、3つのまちづくりの理念を以下のとおり定め、まちづくりのすべての分野における基本とします。

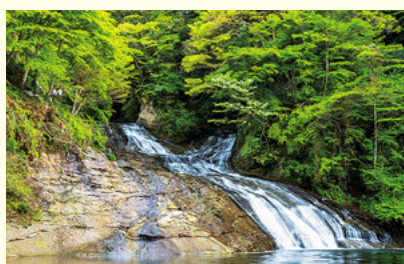
まちづくりの基本理念

- 1 誰もが
住みやすい
まちを目指して
- 2 地域の
誇りを持って
つながりがある
まちを目指して
- 3 みんなが
心も体も
元気で健康なまちを
目指して

▶ 将来像

第3次総合計画では、町の将来像を「ひと まち みどり 未来に光り続けるふるさと 大多喜」とし、町民の郷土に対する愛情や行動力を結集し、人口減少や少子高齢化、厳しい財政状況等の課題を克服することにより、将来にわたって持続可能なまちを目指してきました。

第4次総合計画では、本町の地域特性や町民のニーズ、社会潮流からみた分野別課題を踏まえ、本町が進めてきたまちづくりを引き継ぎ、誰もが「住み続けたい・住んでよかった」、そして、「住んでみたい」と思える持続可能な大多喜町の実現を目指します。この実現に向けて、町全体の魅力を一体として高めるまちづくりを進めるため、まちづくりの指針として将来像(10年後の目指すべきまちの姿)を「みんなで作る 持続可能な住みやすいまち 大多喜」とします。



▶ 基本目標

基本目標は、将来像「みんなで作る 持続可能な住みやすいまち 大多喜」を実現するため、まちづくりの基本理念を踏まえて設定する、分野ごとの目標です。



将来像

みんなで作る
持続可能な住みやすいまち 大多喜



前期基本計画

▶未来づくり重点プロジェクト

まちの将来像「みんなでつくる 持続可能な住みやすいまち 大多喜」の実現に向け、本計画における6つの基本目標の枠組みを超えて、総合的かつ横断的に本町の課題解決に取り組むための重点プロジェクトを、3つの「未来づくり重点プロジェクト」に整理し、前期基本計画を先導するものと位置付け、全庁をあげて分野横断的かつ重点的に取り組みます。



3つのプロジェクトでは、人口減少に歯止めをかけるため、「移住・定住促進プロジェクト」を推進するとともに、「こどもまんなかプロジェクト」及び「健康長寿プロジェクト」を進めることにより、こどもからお年寄りまで、住みやすいと感じる魅力あるまちを目指し、「未来づくり重点プロジェクト」を推進します。

1 移住・定住促進プロジェクト

人口はまちの活力の源であり、人口流出を抑制するとともに、移住を促進し、定住人口の減少に歯止めをかけることが、本町の課題となっています。

そこで、民間活力の活用による分譲地やシティプロモーションによる本町の魅力発信など、誰もが住んでみたいと思える良好な住環境を整備し、「移住・定住促進」、「住宅政策」を重点的に推進します。

また、企業間の連携強化や各産業への支援を充実し、地域産業の活性化や雇用の確保、関係人口や交流人口の創出を図るため、「産業の振興」、「観光・交流の振興」に関する施策を重点的に推進します。

プロジェクトの概要

分野	概要
移住・定住促進	<ul style="list-style-type: none">● 子育て環境、自然環境など、本町の魅力を様々な広報媒体をとおして情報発信します。● 観光資源や地域資源などを活用し、町外からの来訪者を増やします。● 地場産業を活性化し、働く場の確保に努めます。● 地元企業と移住希望者や町民とのマッチングを図り、地元就職の増加を進めるとともに、移住や定住の推進に努めます。
住宅政策	<ul style="list-style-type: none">● 住宅需要に合わせた土地利用や宅地開発に努めます。● 民間活力の適切な導入を図りながら住宅・宅地施策を進め、快適な定住環境の確保に努めます。● 居住可能な空き家を活用した施策を推進します。
産業の振興	<ul style="list-style-type: none">● 生産性の向上や地域特産物の開発・育成、流通体制の充実や消費の拡大、他産業との連携により、農業の振興に努めます。● 企業間の連携強化や商業環境の整備、商業経営などへの支援を充実します。● 企業ニーズ等を把握し、企業誘致を進めます。
観光・交流の振興	<ul style="list-style-type: none">● 大多喜城周辺や養老溪谷を中心とした観光交流を推進し、町外からの来訪者の増加を図ります。

2 こどもまんなかプロジェクト

町内2か所の公立保育園は、令和6年度に自然環境保育認証制度の認証を受けるなど、様々な特色ある保育活動を行っています。また、待機児童もなく、延長保育、休日保育などの保育サービスも充実しています。

都市部では得られない豊かな自然と歴史や文化の薫り高い環境の中で、こどもが健やかに成長し、若者や子育て世代が住み続けたい、住んでみたいと思えるまちを目指し、町全体で若者やこども・子育て世代を支えるため、「結婚・こども・子育て支援」、「教育」に関する施策を重点的に推進します。

プロジェクトの概要

分野	概要
結婚・こども・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 若者の結婚に関する希望の実現に向けて、男女の出会いの創出や婚活支援を行います。 ● こどもの健やかな成長と幸せのために、地域全体で包括的にこどもやその家庭を支援していきます。 ● こどもが個性豊かに成長し、安心して子育てができるよう保育サービスを充実します。 ● 自然環境保育など、特色のある保育を推進します。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ● 家庭や地域、学校が連携し、健やかな心と体を持ったこどもが育つ環境を充実します。 ● こどもたちが様々な課題解決を通じて、未来に向かって、持続可能な社会の維持・発展の担い手になれるよう、「生きる力」を育みます。 ● 英語教育など、特色のある教育を推進します。

3 健康長寿プロジェクト

本町では、急速な少子高齢化、人口減少などの課題に直面しています。このような中で、町民一人ひとりがいつまでも安心して暮らしていけるよう、ライフステージに応じた健康増進のための環境づくりや社会参加の促進、住民のニーズに沿ったサービスの充実を図ることが必要になっています。

そこで、こどもから高齢者まですべての世代が健やかに笑顔で暮らせる地域社会の実現を目指して、「健康・医療」、「生きがいづくり」、「高齢者向けサービスの充実」に関する施策を重点的に推進します。

プロジェクトの概要

分野	概要
健康・医療	<ul style="list-style-type: none"> ● すべての世代が健やかに笑顔で暮らせるまちを目指して、ライフステージに応じた健康増進のための支援を行います。 ● 住民主体の健康づくり活動を推進するとともに、健康寿命の延伸に努めます。
生きがいづくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の多様な活動を支援し、高齢者の生きがいづくりや社会参加を推進します。 ● 生涯学習活動団体の支援を充実するとともに、高齢者の引きこもりの予防に努めます。
高齢者向けサービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護・医療・生活支援が一体的に提供されるように、高齢者向けサービスの充実に努めるとともに、サービスを提供する人材の確保を図ります。

分野別施策(施策の体系)

分野別施策は、基本構想に掲げる本町の将来像「みんなでつくる 持続可能な住みやすいまち 大多喜」を実現するために、基本構想に示された、分野ごとの基本目標の達成に向けて取り組むべき具体的な施策を定めるとともに、それらを推進するための指針となるものです。

基本目標	施策
I 多様性を認め合い 自分らしく暮らせるまちづくり 【地域自治・行政経営】	1 住民参加・協働・コミュニティ 2 共生社会 3 広報・PR 4 行財政運営 5 広域連携
II 産業活力にあふれたまちづくり 【産業・経済】	1 農林業 2 商工業・雇用 3 観光
III 暮らしの質を高めるまちづくり 【生活基盤】	1 土地利用 2 住宅・宅地 3 公共交通 4 道路 5 消防・防災 6 交通安全・生活安全
IV 自然環境と調和したまちづくり 【生活環境】	1 環境保全 2 環境衛生
V 人を育み若者を育てるまちづくり 【教育・文化】	1 子ども教育 2 生涯学習 3 芸術・文化 4 スポーツ
VI 子育てしやすく健康で 人にやさしいまちづくり 【健康・福祉】	1 結婚・こども・子育て支援 2 健康・医療 3 高齢者福祉 4 地域福祉 5 障がい者福祉 6 社会保障

概要版

大多喜町 第4次 総合計画

基本構想・前期基本計画

発行日 : 令和8年3月
企画・編集 : 大多喜町企画課
発行者 : 千葉県大多喜町
〒298-0292 千葉県夷隅郡大多喜町大多喜93番地
電話 : 0470-82-2111 (代)
FAX : 0470-82-4461
URL : <https://www.town.otaki.chiba.jp>
制作 : 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

大多喜町
ホームページ

